

夢を実現。

峡南の新しい時代をとともに!



建設中の富士橋(富士川町地内)

「湧き上がる地域の声」が政策の起点。 平成30年度本会議における主な質問

- 若年層の人口減少対策
- U・Iターン就職の促進
- 救急医療体制の充実
- 保育士の専門性の向上と処遇改善
- 動物殺処分ゼロに向けた取り組み
- 子どもの貧困対策
- 国の米政策の転換を踏まえた酒米の生産について
- 「サイクル王国やまなし」の実現について
- 峡南地域のサイクルツーリズムの推進とサイクルトレインについて
- 富士橋の整備の進捗と修景への取り組みについて
- 道の駅「富士川」への中部横断自動車道からの立ち寄り促進について
- 国道300号中之倉バイパスの整備
- 峡南地域の新設高校の開校に向けた取り組みについて
- 教員勤務実態調査と多忙化改善

詳細は山梨県議会のHP <https://www.pref.yamanashi.jp/gikaisom/>を検索

県人戦没者の慰霊碑『甲斐の塔』の案内板設置



写真左:前八重瀬町議会議員 照屋 直 様(沖縄県)



望月としき

TOSHIKI MOCHIZUKI

2月
議会号

近き者説び、遠き者来たる

山梨に住む私たちが、この地に暮らす幸せを実感できる地域にしたい。

そのためには、郷土の個性を磨き輝かせ、最大限活かして行くことが必要です。国内屈指の山脈が連なる大自然と、里山がおりなす日本の風景、そして先人が築き上げた歴史と文化の香りが私たち峡南の誇りです。

孔子の「近き者説び、遠き者来る」という言葉は、住んでいる私たちが幸せを実感できる地になれば、それを聞いてさらに人々がやって来るといふ政治の最も大切な事を説いたものです。

地方の政治は、この地で生活する一人ひとりが充実した日々を送

るために有り、それは常に住民に寄り添ったものでなくてはなりません。

私は県民から湧き上がる多様な声の代弁者として、生活者、納税者、働く者の立場に立った姿勢を貫き、これからも引き続き全力で地域に尽くしてまいります。

山梨県議会議員

望月 利樹



■中部横断自動車道(新清水JCT～富沢IC)開通式

議員提案

条例制定・政策提言

- 山梨県産木材利用促進条例制定
- やまなし子ども・子育て支援条例制定
- 山梨県がん対策推進条例制定
- 鳥獣被害対策政策提言提出
- 子宮頸がんワクチン被害者救済のための「山梨県独自の被害者救済と、接種した子供たちへの調査を求める」請願採択 全国初
- 国道300号中之倉バイパスの整備実現!

防災対策の
充実強化を求める意見書、
教職員数改善
少人数学級推進など

これまで31本の
意見書を提出

山梨県
議会

地域政策集団
チームやまなし

県政報告

2019年
春号



会派マニフェスト（政策目標）を定め、県議会での積極的な提言！政策を実現！！

★ 県下初 ★

会派マニフェスト「チームやまなしビジョン」が マニフェスト大賞議会部門で 最優秀賞を受賞

民主主義を、さらに高めるために

地方創生時代 地方議会こそが住民の幅広い意見を集約するプラットフォームとなるべきだと考えます。

私たちチームやまなしは県民の声を集約したチームやまなしビジョンという政策集を掲げて、マニフェスト型の会派運営を進めて参りました。

山梨県議会では初めての取り組みであり、手探りの連続でした。

この取り組みが全国的に認められ、第10回マニフェスト大賞において、2,467件の応募の中から最優秀マニフェスト賞（議会部門）を受賞することが出来ました。

またその後の活動では、検証作業とビジョンの進捗状況が再び評価され、2018年も議会部門でベスト10にノミネートされました。

県民からの負託に答えるために、これからも一歩ずつですが議会改革の進展に向けて精力的に活動を行ってきたいと考えています。

